

1 令和3年4月1日から同年9月30日までの財政の状況

(1) 財政の動向

令和3年度の流山市一般会計歳入歳出予算総額は、711億7,000万円であり、令和2年度の698億3,500万円に比べ、13億3,500万円、約1.9%の増額となっている。

主な増額の要因としては、新型コロナウイルス感染症対策に関する経費、子育て世代の人口増加に伴う子育て施策に関連する経費や高齢者や障害者に関連する施策等の増加により、民生費は前年度比13億7,502万5千円、衛生費は12億1,850万3千円の増額となったことによるものである。

また、6月に行われた流山市議会第2回定例会において、新型コロナウイルス感染症対策に関する経費として、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種機会を増やすため、集団接種会場を開設する経費などを新たに計上したほか、前年度からの繰越額を含めると、9月末の予算現額は805億3,155万1千円となっている。

なお、上期における予算現額を前年の9月末現在のものと比較すると、歳入では、新型コロナウイルスの影響から市税は12億6,683万3千円減額、新設中学校の建設などの経費や税収の減額などにより不足する財源に充てるため繰入金は、14億8,613万6千円の増額となっている。

また、歳出においては、新型コロナウイルス感染症対策として行うワクチン接種などの経費により、衛生費が37億6,386万9千円増額しているものの、特別定額給付金に関する事業の終了により、民生費が187億6,270万1千円の減額となり、前年9月末現在と比べて132億1,851万5千円の減額となっている。

一般会計と特別会計の9月末現在の執行状況は(3)収入及び支出の概況のとおりである。